

健康ほくほく通信

園 保健介護課 保健係 内線3111、3113～3116



No.17 子宮頸がんはワクチンで予防できます！

HPV（ヒトパピローマウイルス）とは？

子宮頸がんなどの原因となるウイルスです。とてもありふれたウイルスで、8割以上の男女が一生のうち1度は感染しています。

子宮頸がんの現状

子宮頸がんは、子宮の出口に近い子宮頸部にできるがんです。日本では20～40代の女性を中心に毎年、約1.1万人の女性がかかり、さらに毎年約2,800人の女性が亡くなっています。

HPVワクチンの効果

HPVワクチンは子宮頸がんの50～70%を防ぎます。
多くの国では接種対象者の7～8割が接種しています。

HPVワクチンの接種について

定期接種の対象者：小学校6年生～高校1年生相当の女の子。

公費で接種できるのは高校1年生の3月までに終了した分です。ワクチンは2種類ありますが、どちらも合計3回接種します。3回打ち終わるまでに6ヶ月の期間が必要なので、高校1年生で接種を検討している方は9月中に1回目を打ち始めましょう。

自費で接種を行うと、合計5～10万円ほどかかります。

HPVワクチンの副反応

HPVワクチンは以前、接種後に体調不良を経験した患者が多くマスメディアによって報道されたため、副反応が起きやすいというイメージがあるかもしれませんが、しかし、その後、国内外のさまざまな研究により、ワクチンを接種した人も接種していない人も同じくらいの頻度でそのような体調不良が起こる可能性があることが分かりました。副反応（疑い）の報告は1万人あたり約5人程度で、いずれもほとんどの症例で回復したことが分かっています。

HPVワクチンを受けていても、子宮頸がん検診は必要です。20歳になったら、子宮頸がん検診を定期的に受けましょう。

北宇和病院
だより



救急医療体制に対する 新型コロナウイルスの影響について

9月9日は「救急の日」です。昨年来の新型コロナウイルス感染症の流行以降、救急医療を取り巻く環境にも大きな影響が生じています。救急隊員や医療関係者はワクチン接種が完了していますが、感染を完全に防げるわけではありません。事故などによる外傷での救急要請でも、発熱を認める患者さんの場合は新型コロナウイルス感染を完全に否定できない以上、感染防御体制や診療前のウイルス検査などが必要となり、従来と比べて時間も手間もかかる状態となっています。現状より救急搬送の件数が増加すると「医療崩壊」に至る危険性もあります。事故や急病等、やむを得ない状況もありますが、日頃の体調管理に一層注意していただき、体調不良を感じる場合は早めに発熱外来に相談するなど、救急医療体制の維持のため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

予土線がウルトラマンの
新しい仲間を描いた列車
が、これからは海堂ホビー館
た。この開催に合わせて
四万十町の催しを企画
ギユ展の開催に合わせ
画されたもの。真赤な車
ながら走り回っています。



今月の1枚

編集後記
▼ついに開催された東京オリンピック。毎日のようにチャンネルを変えながら各競技を観戦しました。自分の変化に気付いたのは選手インタビュー。日頃取材で聞くことの難しさを感じている私は、選手のインタビューの答えだけではなく、記者の質問の内容にも耳を傾けていました。オリンピックの感動を力に変えて今月も頑張っていきたいと思えます。
(史)